

米国経済・金融概況 (2021年10月)

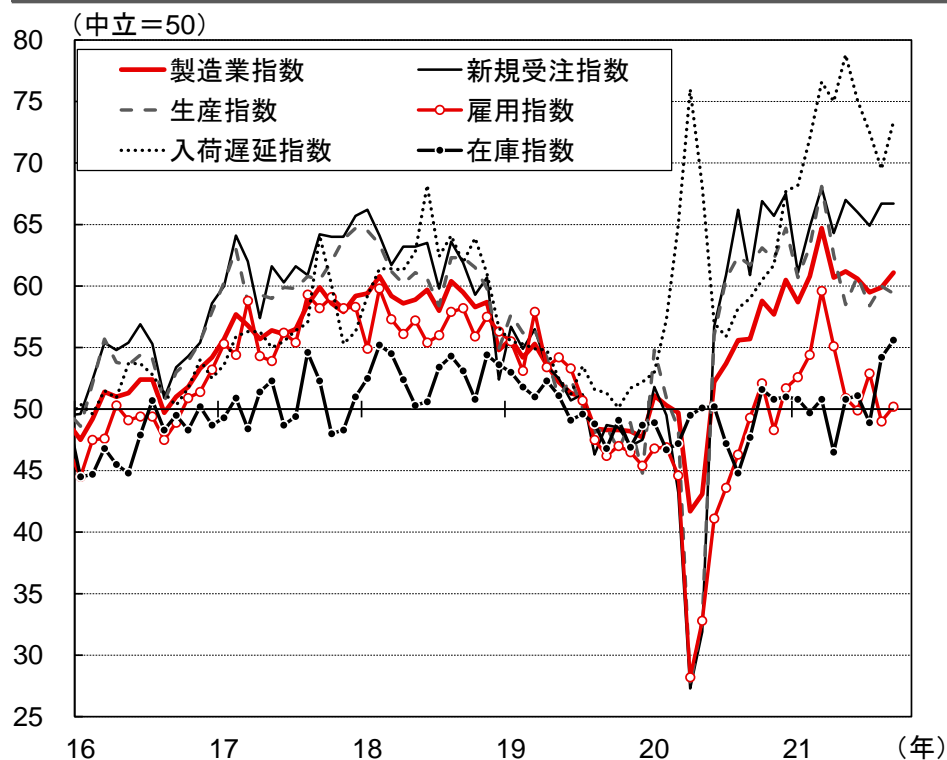
2021年10月18日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

1. 企業活動

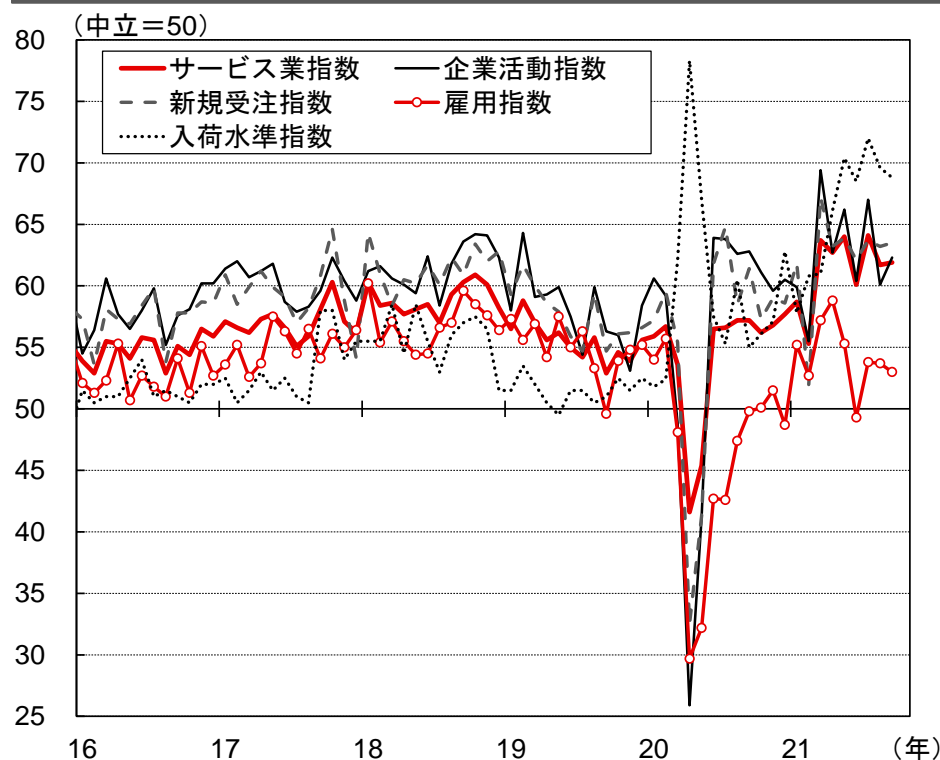
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数は、9月に61.1（前月比+1.2）と2ヵ月連続で上昇し、拡大と縮小の境目である50を16ヵ月連続で上回った。指数の構成項目をみると、入荷遅延指数が73.4（同+3.9）と全体の押し上げに大きく寄与したほか、在庫指数は55.6（同+1.4）、雇用指数は50.2（同+1.2）と上昇。産業別にみると、全18産業のうち17産業が前月から活動の拡大、1産業が縮小を報告（8月は15産業が拡大、2産業が縮小、1産業が横這いを報告）。
- 9月のISMサービス業指数は61.9（前月比+0.2）と2ヵ月ぶりに小幅上昇し、拡大と縮小の境目である50を16ヵ月連続で上回った。指数の構成項目をみると、雇用指数が53.0（同▲0.7）、入荷遅延指数が68.8（同▲0.8）と低下した一方、企業活動指数は62.3（同+2.2）、新規受注指数は63.5（同+0.3）と上昇。産業別にみると、全18産業のうち17産業が前月から活動の拡大、1産業が縮小を報告（8月も17産業が拡大、1産業が縮小を報告）。

ISM製造業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 生産

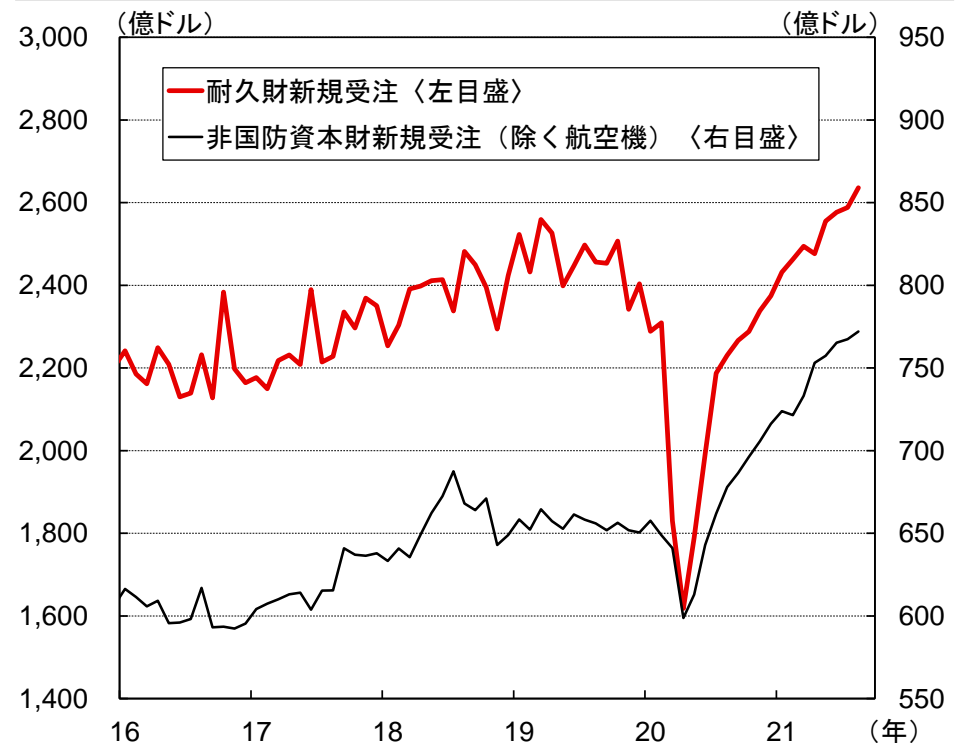
- 9月の鉱工業生産は前月比▲1.3%と2カ月連続で減少。「製造業」は半導体不足に伴う「自動車・同部品」の減産及びハリケーンアイダの影響により同▲0.7%、「公益事業(電力・ガス)」は前月の猛暑の反動(冷房需要減少)により同▲3.6%、「鉱業」はハリケーンアイダの影響により同▲2.3%と減少。ハリケーンアイダは9月の鉱工業生産を▲0.6%ポイント下押し(統計発表元のFRB試算)。9月の設備稼働率は75.2%と前月から▲1.0%ポイント低下。
- 8月の耐久財新規受注は前月比+1.8%と4カ月連続で増加。内訳をみると、全体の約3割を占める「輸送用機器」が同+5.4%(うち民間航空機が同+77.9%)と増加。設備投資の先行指標であるコア資本財受注(非国防資本財受注、除く航空機)は8月に同+0.6%と6カ月連続で増加。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

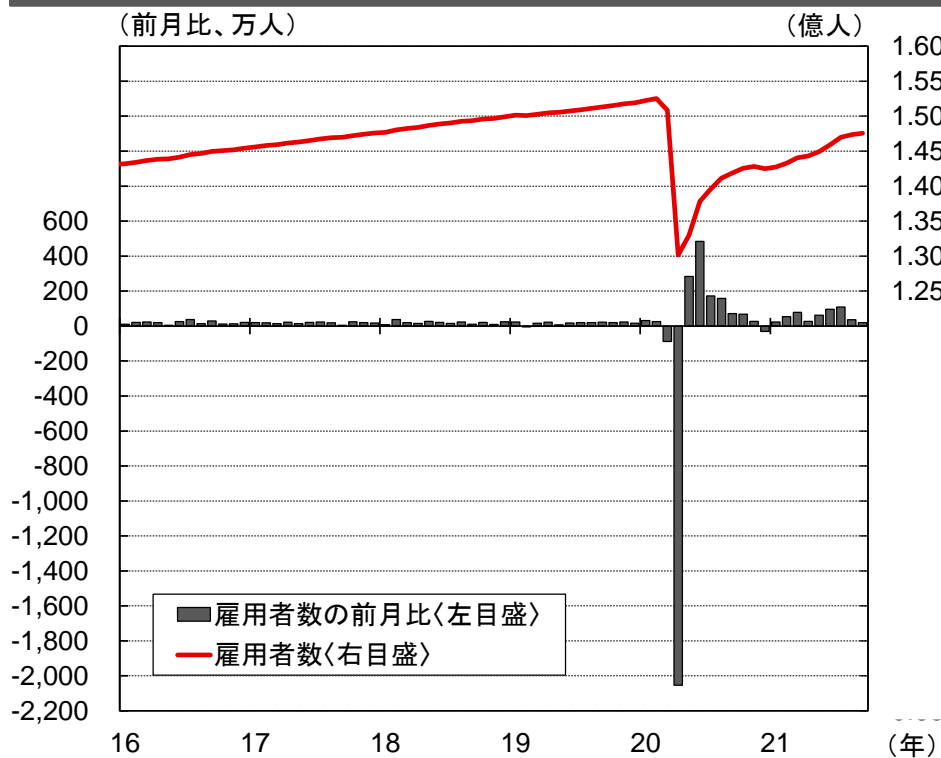


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 雇用

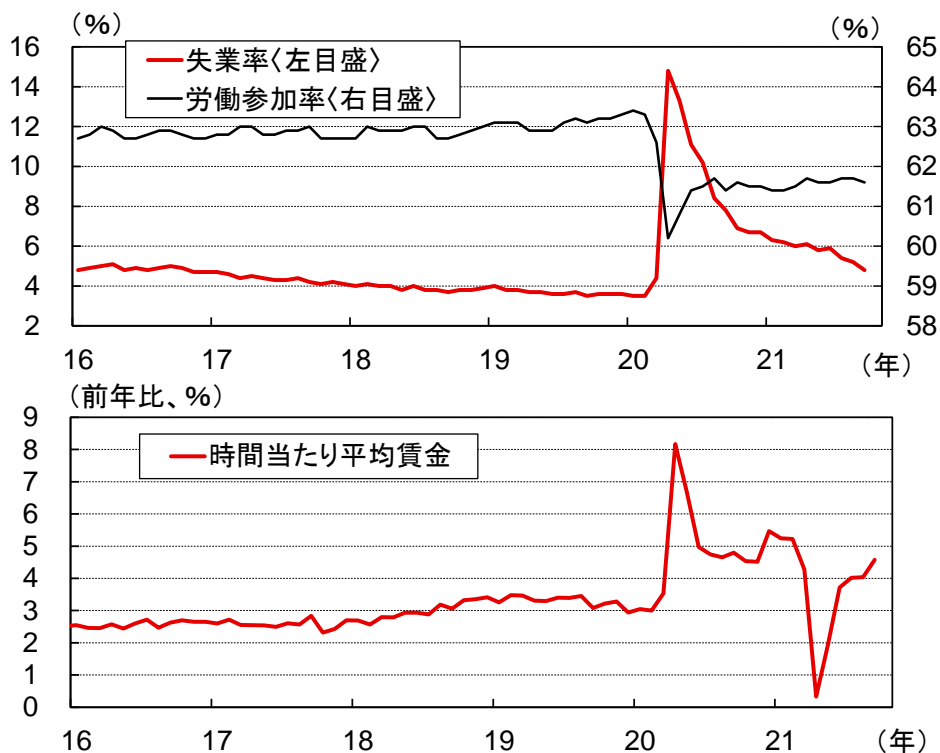
- 9月の非農業部門雇用者数は前月比+19.4万人と増加したものの、前月(同+36.6万人、改定値)から伸びが鈍化し、市場予想(Bloomberg集計: +50.0万人)を大きく下回る結果。9月は学校の対面授業再開で親が職場に戻る等による雇用者数の押し上げが期待されていたが、引き続き感染症への警戒が強いこと等から伸びは限定的。
- 業種別にみると、「レジャー・飲食」(同+7.4万人)、「専門・ビジネスサービス」(同+6.0万人)、「小売業」(同+5.6万人)、「輸送・倉庫」(同+4.7万人)などが増加。一方、「政府」(同▲12.3万人)は州・地方の教育関連を中心に減少したが、技術的な要因(パンデミックによる季節調整の歪み)が一部影響。なお、非農業部門雇用者数の水準はパンデミック前(2020年2月)に対して▲497万人(▲3.3%)下回る。
- 9月の失業率は4.8%と前月(5.2%)から低下、失業者数も767万人、前月比▲71万人と減少。労働参加率は61.6%と前月から小幅低下。9月の時間当たり平均賃金(民間部門)は前月比+0.6%、前年比+4.6%と、前月から夫々加速。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

失業率・労働参加率・時間当たり平均賃金の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. 個人消費

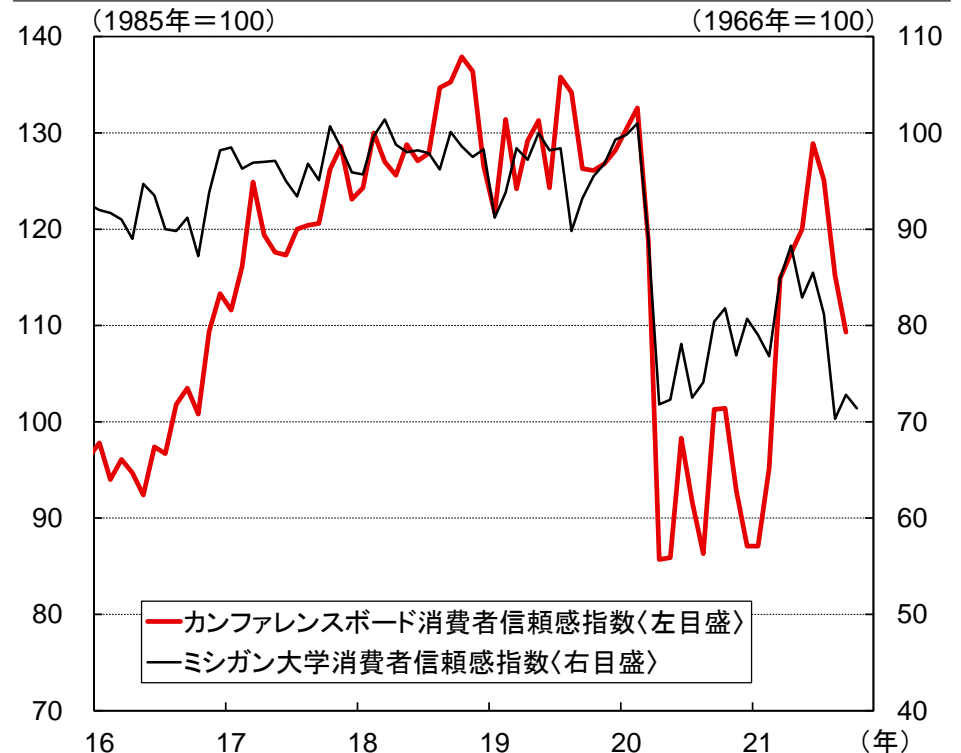
- 9月の小売売上高は、前月比+0.7%と2ヵ月連続で増加(8月:同+0.9%)。業種別にみると、電機・家電販売店(前月比▲0.9%)が減少した一方、総合小売店(同+2.0%)、ガソリンスタンド(同+1.8%)、自動車・同部品販売店(同+0.5%)、飲食店(同+0.3%)などが増加。
- 9月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は109.3(前月比▲5.9)と3ヵ月連続で低下し、2月(95.2)以来の低水準に。内訳をみると、現況指数は143.4(同▲5.5)、期待指数は86.6(同▲6.2)と夫々低下。また、10月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)は71.4(前月比▲1.4)と2ヵ月ぶりに低下。内訳をみると、現況指数は77.9(同▲2.2)、期待指数は67.2(同▲0.9)と夫々低下。デルタ変異ウイルスや供給制約による物価上昇への懸念に加え、債務上限問題等を巡る混乱により政府の経済政策への支持が下がっている点が消費者の楽観姿勢を後退させた可能性が指摘される。

小売売上高の推移



(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

消費者信頼感指数の推移

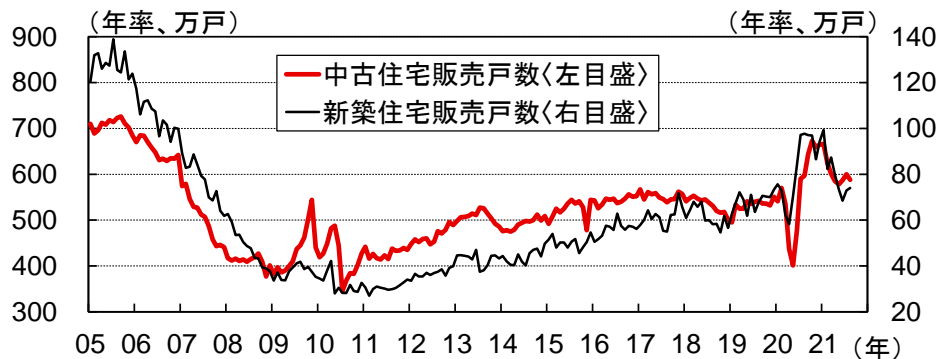
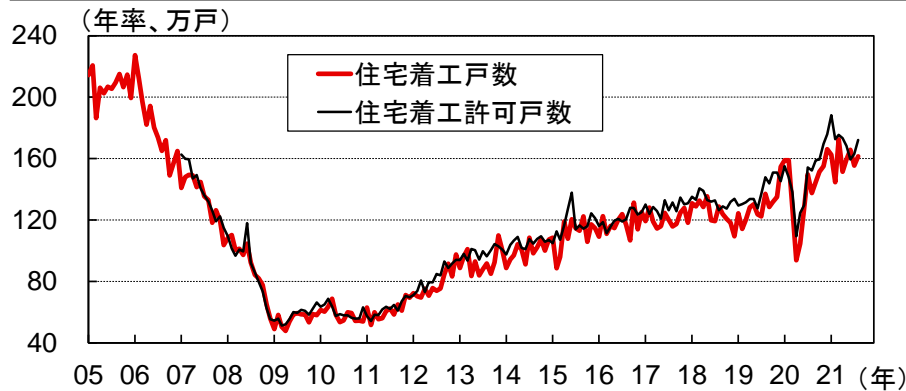


(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 住宅

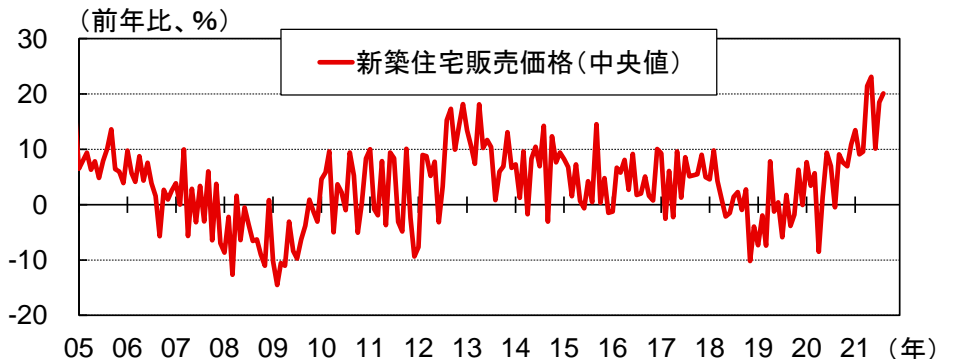
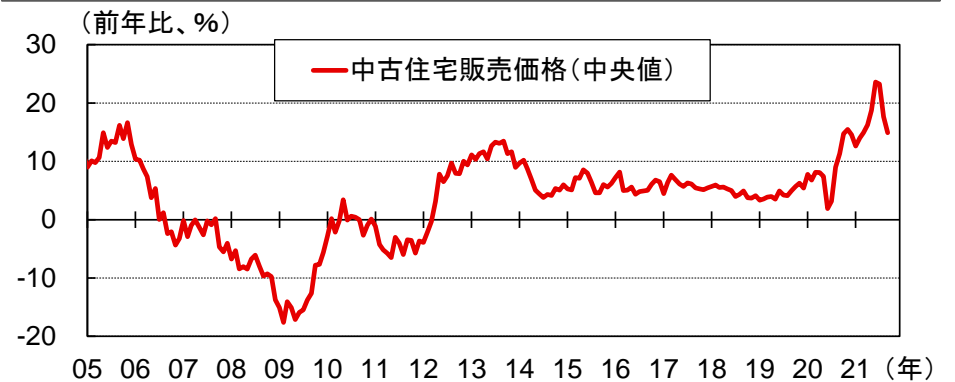
- 8月の住宅着工戸数は前月比+3.9%の年率161.5万戸(季節調整済)と2ヵ月ぶりに増加。内訳をみると、一戸建住宅が同▲2.8%と減少した一方、振れの大きい集合住宅(2世帯以上)は同+20.6%と増加して全体を押し上げた。先行指標である住宅着工許可戸数は同+5.6%の年率172.1万戸と2ヵ月連続で増加。
- 中古住宅販売戸数は8月に前月比▲2.0%の年率588.0万戸(季節調整済)と3ヵ月ぶりに減少。在庫率は2.5ヵ月(季節調整済)と前月から横ばい。販売価格(中央値)は356,700ドル(季節調整前)、前年比+14.9%と7月(同+17.6%)から伸びは鈍化。但しパンデミック前(2020年2月)と比較すると価格は+31.9%と高騰しており、引き続き販売戸数の下押し要因。
- 新築住宅販売戸数は8月に前月比+1.5%の年率74.0万戸(季節調整済)と2ヵ月連続で増加。在庫率は6.1ヵ月(季節調整済)と2ヵ月ぶりに上昇。販売価格(中央値)は390,900ドル(季節調整前)、前年比+20.1%と7月(同+18.5%)から伸びは加速。

住宅着工戸数・着工許可戸数・住宅販売戸数の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売価格の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. 物価

- 9月の消費者物価指数は前年比+5.4%(8月:同+5.3%)、前月比+0.4%(8月:同+0.3%)と夫々伸びが加速。前月比の上昇分のうち、半分強を「食品」と「家賃」が占めた。食品とエネルギーを除いたコア消費者物価指数は、前年比では+4.0%と前月から横ばい、前月比では+0.2%(8月:同+0.1%)と加速。前月比では「家賃」、「新車」等が上昇した一方、「中古車」「衣料品」等が下落。
- 9月の生産者物価指数は前年比+8.6%、食品とエネルギーを除いたコア生産者物価指数は同+6.8%と、夫々2010年11月の統計開始以来最大の伸びを更新。内訳をみると、「財」(同+13.3%)は前月から伸びが加速し、「サービス」(同+6.4%)は横ばい。一方、前月比では、総合指数は+0.5%(8月:同+0.7%)、コア指数は同+0.2%(8月:同+0.6%)と、デルタ変異ウイルス拡大に伴う航空運賃等の急低下により夫々今年最低の伸び。

消費者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移

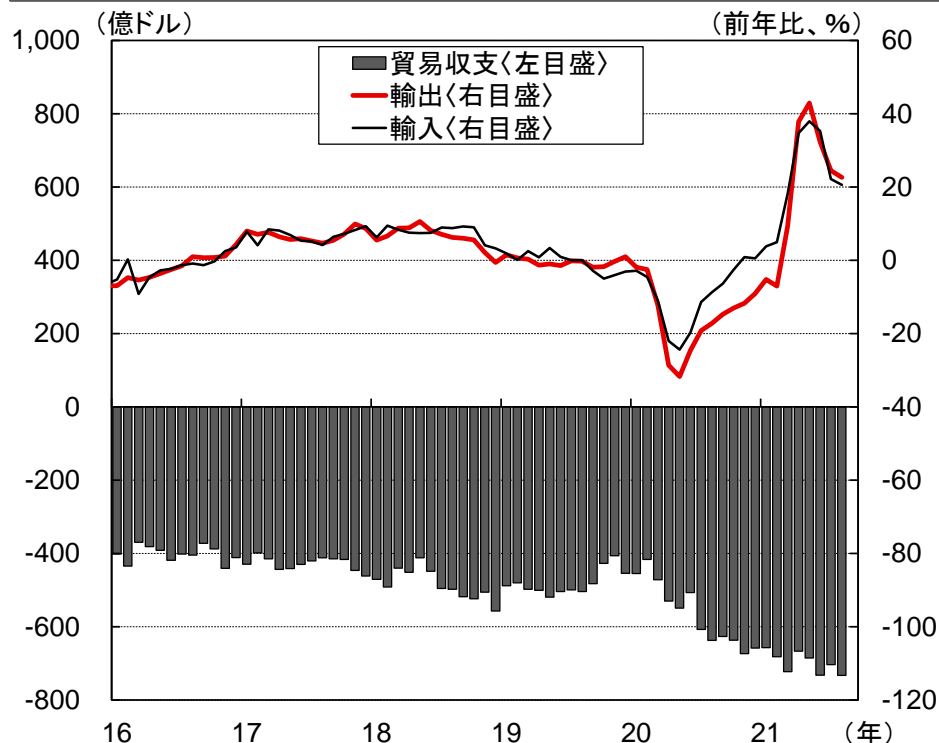


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. 国際収支

- 8月の貿易収支(財・サービス)は733億ドルの赤字となり、赤字幅は前月比+4.2%と拡大。輸出は同+0.5%、輸入は同+1.4%と夫々増加。前月は輸入が減少し、デルタ変異ウイルス感染拡大などが内需を下押しした可能性が指摘されていたが、8月は増加。前年比でみると、輸出は+22.6%、輸入は+20.6%と高い伸びを維持しているが、伸び率は3ヵ月連続で縮小。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める中国との貿易赤字は8月に281億ドルとなり、赤字幅は前月比+12.4%(同+31億ドル)と拡大。対中輸出(財)が同▲13.6%と減少した一方、対中輸入(財)は同+3.5%と増加。前年比では対中輸出(財)は+1.5%、対中輸入(財)は+2.8%と夫々増加。

貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 金融市場動向

- 10年物国債利回りは、9月のFOMCにおいてテーパリング(量的緩和政策の段階的縮小)の早期着手と政策金利見直しにおける利上げ開始の2022年への前倒し等、タカ派的な内容が示されたことから上昇し、足元では1.6%台で推移。
- ダウ平均株価は、中国恒大集団の債務危機、インフレの長期化懸念、米国の債務上限問題を巡る混乱等から調整色が強まり、軟調に推移。

10年物国債利回りの推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

		20年10月	11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	58.8	57.7	60.5	58.7	60.8	64.7	60.7	61.2	60.6	59.5	59.9	61.1	-
	ISMサービス業指数	56.2	56.8	57.7	58.7	55.3	63.7	62.7	64.0	60.1	64.1	61.7	61.9	-
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	96.6	97.2	98.3	99.4	96.4	99.2	99.2	99.9	100.4	101.4	101.3	100.0	-
	前月比(%)	1.1	0.5	1.2	1.1	▲3.0	2.9	0.1	0.7	0.5	1.0	-0.1	-1.3	-
	設備稼働率(%)	72.9	73.3	74.1	75.0	72.7	74.8	74.8	75.3	75.6	76.3	76.2	75.2	-
	製造業受注(億ドル)	4,531	4,604	4,683	4,792	4,812	4,881	4,874	4,986	5,061	5,095	5,157	-	-
	前月比(%)	0.9	1.6	1.7	2.3	0.4	1.4	▲0.1	2.3	1.5	0.7	1.2	-	-
	うち耐久財受注(億ドル)	2,288	2,338	2,374	2,432	2,463	2,495	2,476	2,555	2,577	2,588	2,636	-	-
	前月比(%)	1.0	2.2	1.5	2.4	1.3	1.3	▲0.7	3.2	0.8	0.5	1.8	-	-
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	68.0	26.4	▲30.6	23.3	53.6	78.5	26.9	61.4	96.2	109.1	36.6	19.4	-
	時間当たり平均賃金(ドル)	29.52	29.61	29.91	29.92	30.00	29.97	30.17	30.31	30.44	30.55	30.66	30.85	-
	前年比(%)	4.5	4.5	5.5	5.2	5.2	4.3	0.3	1.9	3.7	4.0	4.0	4.6	-
	失業率(%)	6.9	6.7	6.7	6.3	6.2	6.0	6.1	5.8	5.9	5.4	5.2	4.8	-
	個人所得(年率、億ドル)	196,288	194,350	195,622	215,045	199,551	241,424	208,625	204,138	204,490	206,812	207,167	-	-
	前月比(%)	▲0.2	▲1.0	0.7	9.9	▲7.2	21.0	▲13.6	▲2.2	0.2	1.1	0.2	-	-
	個人消費(年率、億ドル)	145,460	144,673	143,895	148,579	146,996	154,589	156,187	156,244	158,020	157,917	159,222	-	-
	前月比(%)	0.4	▲0.5	▲0.5	3.3	▲1.1	5.2	1.0	0.0	1.1	-0.1	0.8	-	-
	貯蓄率(%)	13.6	13.0	14.0	19.9	13.5	26.6	12.4	10.0	9.0	10.1	9.4	-	-
	小売売上高(億ドル)	5,500	5,426	5,360	5,765	5,600	6,231	6,288	6,201	6,254	6,153	6,209	6,254	-
	前月比(%)	0.2	▲1.4	▲1.2	7.6	▲2.9	11.3	0.9	▲1.4	0.9	▲1.6	0.9	0.7	-
	自動車販売台数(年率、万台)	1,640	1,587	1,631	1,678	1,593	1,764	1,830	1,689	1,547	1,471	1,300	1,218	-
	前月比(%)	0.8	▲3.2	2.7	2.9	▲5.1	10.7	3.7	▲7.7	▲8.4	▲4.9	▲11.6	▲6.4	-
カンファレンスボード消費者信頼感指数	101.4	92.9	87.1	87.1	95.2	114.9	117.5	120.0	128.9	125.1	115.2	109.3	-	
ミシガン大学消費者信頼感指数	81.8	76.9	80.7	79.0	76.8	84.9	88.3	82.9	85.5	81.2	70.3	72.8	71.4	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移														
		20年10月	11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	151	155	166	163	145	173	151	159	166	155	162	-	-
	前月比(%)	4.6	2.4	7.1	▲2.2	▲11.0	19.2	▲12.2	5.3	4.0	▲6.2	3.9	-	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	673	659	665	666	624	601	585	578	587	600	588	-	-
	前月比(%)	4.5	▲2.1	0.9	0.2	▲6.3	▲3.7	▲2.7	▲1.2	1.6	2.2	▲2.0	-	-
	新築住宅販売戸数(年率、万戸)	97	87	94	99	82	87	80	73	69	73	74	-	-
前月比(%)	▲0.2	▲10.7	9.0	5.3	▲17.1	6.1	▲8.8	▲7.9	▲6.5	6.4	1.5	-	-	
物価	消費者物価指数(1982~84年=100)	260.4	260.2	260.5	261.6	263.0	264.9	267.1	269.2	271.7	273.0	273.6	274.3	-
	前月比(%)	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.6	0.8	0.6	0.9	0.5	0.3	0.4	-
	前年比(%)	1.2	1.2	1.4	1.4	1.7	2.6	4.2	5.0	5.4	5.4	5.3	5.4	-
	生産者物価指数(2009年11月=100)	119.5	119.3	119.4	120.9	121.9	123.0	124.3	125.5	126.3	127.6	128.3	128.9	-
	前月比(%)	0.6	0.0	0.3	1.2	0.7	0.8	1.0	0.9	0.6	1.0	0.7	0.5	-
前年比(%)	0.6	0.8	0.8	1.6	3.0	4.1	6.5	7.0	7.3	7.8	8.3	8.6	-	
国際収支	輸出(財、億ドル)	1,258	1,268	1,315	1,344	1,303	1,436	1,451	1,456	1,459	1,486	1,497	-	-
	輸入(財、億ドル)	2,079	2,130	2,163	2,210	2,196	2,366	2,321	2,350	2,392	2,364	2,391	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲821	▲862	▲848	▲866	▲893	▲930	▲871	▲893	▲933	▲878	▲894	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲637	▲673	▲658	▲657	▲682	▲722	▲667	▲685	▲732	▲703	▲733	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料)各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : cokada-wighe@us.mufg.jp